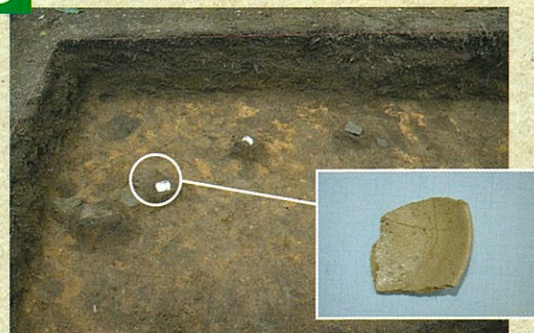


9



北城 志野陶器皿

江戸時代（17世紀初頭）に美濃（現在の岐阜県）で焼かれた焼き物。

10



中城 石列・礎石

石列の下から見つかった瓦が戦国時代末から江戸時代初頭のものであると判明したため、この石列はそれ以降に作られたものであるとわかりました。

1



烏山城の石垣

烏山城跡では3カ所の石垣がありますが、それぞれ異なる表情を持っています。

石垣をよく観察すると、修理をしながら石垣をつかっていたことがわかります。



8



西城 出土貿易陶磁器

烏山城では国内で作られた陶磁器だけでなく、中国（景德鎮窯・龍泉窯など）で作られた磁器が多く見つかっています。

7



西城 掘立柱建物跡 柱穴

岩盤をくり抜いて掘立柱建物の柱穴を掘っていることがわかりました。

6



西城 区画溝

曲輪の中を区画する溝で、箱薬研堀状になっています。

断面をみると、管理のために掘り返しをしていることがわかります。

4



古本丸 西側土塁断ち割り

排水を考えて、砂利、砂、土、粘土を層状に積んでいます。

5



古本丸 かわらけ出土状況

「かわらけ」と呼ばれる素焼きの皿が100枚近く発見されました。

2



本丸 平坦面礎石

本丸御殿の一部と思われる多くの礎石が発見されました。石の配置から、複数時期の建て替えが推測されます。建物の周りには砂利が敷かれていたことがわかりました。

3



本丸 染付碗

江戸時代（17世紀末）に肥前（現在の佐賀県）でつくられたお碗。絵は手書きではなく、形紙などでプリントされたもの。